

南国・香南・香美地域アクションプラン（認知症に重点を置いた地域包括ケアの推進）の取り組みの総まとめ
～病氣や障害があっても住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らせるようにするために～

【南国・香南・香美地域保健医療計画(H20～24)取り組み後の課題】

- ①在宅側と施設側、双方向のスムーズな情報交換
- ②患者(本人)・家族の安心につながる退院前カンファレンス
- ③患者(本人)・家族を継続的、包括的に支える体制づくり
- ④患者(本人)・家族が在宅でのQOLの向上を実感できる取り組みへつながる資質向上の仕組みづくり
- ⑤地域全体で取り組む見守りネットワークの構築
- ⑥行政、専門職、住民の連携による要援護者支援の仕組みづくり

| 目 標 | 5カ年(H25～29)の取り組みと成果 | 課題及び今後の取り組み | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|--------------|---------------|-------------|-----|-----|----------|-------|-------|--|--|-----|---|
| <p>認知症の早期発見・早期対応に向けた在宅ケアの連携の仕組みづくり</p> | <p>◇認知症の早期発見・早期対応に向けての多職種連携が進化 ・3市に認知症初期集中支援チームが設置され、チーム間の情報共有が進んだ。 ・多職種連携を目的とした研修会の継続開催による顔の見える関係づくりが強化 ・かかりつけ医と介護支援専門員で双方向の連絡票の活用が開始 ・高知家お薬プロジェクト開始 ・H28～ 3市(南国市、香南市、香美市)でモデル実施 ・H29～ 3市、高知市、嶺北で実施 ・在宅歯科連携室の認知度アップによる在宅歯科診療件数の増加 ・香美市では認知症支援推進協議会事業を活発に実施</p> <p>◇早期発見・早期対応に向けた仕組みづくりの強化 ・南国市では、認知症ケアバスを作成し全世帯に配布 ・看護職を対象とした認知症ケア対応能力向上研修の開催によるスキルアップ ・住民への認知症啓発事業(出前教室、講演会、映画上映会等)や相談先の紹介等 ・香南市では、早期発見のツールとしてDASCを活用 ・認知症サポート医、オレンジドクターの増加</p> | <p>【課題】 ・早期相談への住民理解の広がりや支援が必要な人が地域で暮らせる地域包括ケアシステムの構築 ・認知症初期集中支援チーム員の医師からかかりつけ医と専門医への連絡体制の構築</p> <p>【今後の取り組み予定】 ・各関係機関が今までの取り組みを継続</p> | | | | | | | | | | | | |
| <p>在宅ケアを支えるため入院・入所施設との連携の仕組みづくり</p> | <p>◇医療、介護が必要な人が安心して地域で生活できるための連携が強化 ・入退院時の医療と介護の連携のための「中央東圏域多職種連携手引き」策定に向けた検討開始 入退院時の連携(連絡票)状況 H28年 入院時:22% 退院時:28% H29年 入院時:50% 退院時:72% ・行政と医師会がともに取り組む在宅医療・介護連携事業がスタート H28年から土佐長岡郡・香美郡医師会へ事業委託 H29年10月からコーデイネーターが配置され、相談支援体制が整備 事業を通じて居宅療養の課題や今後の対策に向けての整理ができた。 ・多職種研修会や事例検討参加による顔の見える関係づくりが進んだ。</p> | <p>【課題】 ・本人の選択、本人家族の心構えを後押しする地域の現状の整理と情報の共有 ・医師会のコーデイネーターとの相談対応体制の仕組みづくり</p> <p>【今後の取り組み予定】 ・在宅医療・介護連携推進事業での取り組みの推進</p> | | | | | | | | | | | | |
| <p>地域で認知症を理解した人が増え、支える仕組みづくり</p> | <p>◇地域での認知症理解者の増加</p> <table border="1" data-bbox="1721 1176 1899 1711"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24年度 3月末</th> <th>H29年度 12月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症キヤラバンメイト</td> <td>211</td> <td>304</td> </tr> <tr> <td>認知症サポーター</td> <td>4,370</td> <td>7,529</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇認知症理解への啓発活動の活発化 ・歯科医による咀嚼能力改善による認知症予防知識の普及 ・社協や地域包括支援センターによる小学生等への周知 ・認知症サポーター養成講座の多世代への広がり ・認知症をキーワードにした取り組みの広がり</p> <p>◇家族会の認知症支援活動が強化 ・認知症カフェやサポーター養成講座運営への積極的な関与</p> | | H24年度 3月末 | H29年度 12月末 | 認知症キヤラバンメイト | 211 | 304 | 認知症サポーター | 4,370 | 7,529 | | | (人) | <p>【今後の取り組み予定】 ・今までの取り組みで増えた理解者とともに、本人、家族を支える仕組みづくりを継続、強化</p> |
| | H24年度 3月末 | H29年度 12月末 | | | | | | | | | | | | |
| 認知症キヤラバンメイト | 211 | 304 | | | | | | | | | | | | |
| 認知症サポーター | 4,370 | 7,529 | | | | | | | | | | | | |
| | | (人) | | | | | | | | | | | | |
| <p>認知症の要援護者を支援する行政、専門職と住民の連携</p> | <p>◇認知症等の支援が必要な方の見守り体制づくりの取り組みが強化 ・民生委員児童委員等、地域の関係者の認知症理解が進んだ ・各団体の主体的な認知症研修会の開催 ・行政と民生委員等関係機関の情報共有が進み、見守り体制が強化 ・香南市では、地域住民とともに認知症高齢者声かけ見守り訓練を実施 ・地域ケア会議への専門職の参加 ・薬剤師会が3市の地域ケア会議へアドバイザーとして参加</p> | <p>【今後の取り組み予定】 ・今以上に関係者が情報共有を図り、住民とも連携し認知症の方等が住み慣れた地域で暮らし続けられる地域包括ケアシステム構築につながる取り組みを継続</p> | | | | | | | | | | | | |

医療・介護・福祉の連携

地域の見守りや支え合いの推進